ハーモニック

第 19 号
平成 31 年 1 月号

この広報誌「ハーモニック」は、ハーモニー高崎ケアセンター（高崎市心身障害者デイサービスセンターおよび高崎心身障害者会館）と高崎身体障害者体育センターの利用者や関係者の方々に、私たちの活動に関する情報やスタッフの思いや考えなどを盛り込んだ情報を提供する目的で、季刊誌として発行しています。

なるべく多くの方々に読んでいただくために、各施設の出入り口付近や事務所窓口においてありますので、ご自由にお持ち帰りになってお読みいただければ幸いです。また私たちの施設や活動をご存じない方々にもご紹介下さい。

平成三十一年を迎えて

ハーモニー高崎ケアセンター
総合施設長　花岡 卓二

何かにつけて「平成最後の」と枕詞のように言われていますが、まさに平成最後の新年を皆様はどう迎えられたでしょうか。

この原稿を書いている 1 月下旬は、関東地方は雨が全然ふらず空気は乾燥しっぱなしで、そのうえ報道に寄ればインフルエンザは猛威をふるっています。毎シーズンの事とは言え、1 年のスタートとなるこの季節を皆様には健康で過ごしていただきたいと思っています。

せっかくの 1 年のスタートですから、何か明るい話をしようと思いましたが、世の中を見回してもあまり明るい話題が見つかりません。そこで、気分を変えて、ちょっとした「オメデタイ」話題を提供しようと思います。

皆様は「鯛の鯛（たいのたい）」とか「鯛中鯛」というのをご存じでしょうか。これは魚の鯛にある骨の名前です（写真）。鯛の胸鰭（むなびれ）の所にある骨で、胸鰭を支えたり動かしたりする筋肉が付着している骨です。肩甲骨と烏口骨（うこうこつ）という二つの骨がくっついてできており、取り出すとなんとなく魚の形をしているので「鯛の鯛」とか「鯛中鯛」と呼ばれるようになったようです。めでたい魚とされる鯛の中にあるのでさらにめでたいという意味で名付けられたと思われます。（ただし、サメやエイのような「軟骨魚」にはありません）

この「鯛の鯛」は、見つけて保存しておくと「縁起が良い」「お守りになる」「財布に入れておくと金が貯まる」などと言われるそうで、あの美空ひばりは鯛を食べる時に見つけると必ず保存していたという話しを TV で見たことがあります。

私の妻が鯛のアラ（胸鰭がついた頭の部分）を買ってきて汁物にする事が時々あり、私の好物の一つです（第一に安い！）。20 年程前にこの汁物を食べながら、ふと「鯛の鯛」を探してみようと思い、探してみると最初はうまく行きませんでしたが、すぐ取り出すコツを覚えました。

それ以来、アラを食べるたびに「鯛の鯛」を取り出して、乾燥させ保存しておくのが趣味（？）になってしまいました。

鯛に「鯛の鯛」があるのならどの魚にも同じ骨はあるわけで、妻が魚をさばけるのを幸いに、丸のまま魚を買ってきた時にはできる限り胸鰭の部分は捨てないで取っておいてもらい、同じ骨を探してみました。当然といえば当然ですが、探しにくさなどの違いはありますが、上手に探せば必ず見つかり、だんだんコレクションが増えてしまいました。

今ではついに 64 種類の魚の「鯛の鯛」的な骨が集まってしまいました。鰤（ぶり）は魚体が比較的大きいだけあって、けっこう立派な骨です。ただし、鯛以外は例えば「鰤の鰤」というような呼び方は聞いたことがありません。やはり鯛は「腐っても鯛」という表現があるように特別な魚なのでしょうか。私の場合は家庭で食べる魚しか手に入りませんが、それにしてもずいぶん増えたものです。ただし縁起が良いかどうかは別として、お金が貯まる気配はありません。

インターネットで「鯛の鯛」あるいは「鯛中鯛」で検索すると、いろいろな魚の「鯛の鯛」の写真を見ることができますので、興味がある方はお試し下さい。

（ハーモニー高崎ケアセンター総合施設長　花岡卓二）

画像：ねっとで水族館「魚のヒミツ－鯛の鯛」, <http://aquamuseum.net/content/himitu/h-10-1.html>（参照 2019/01/29）

就任のご挨拶

2018 年 10 月より、高崎市心身障害者デイサービスセンター（以下、センター）のセンター長に就任しました荻野勝秀と申します。年齢はもうすぐ還暦を迎える年齢です。よく言えば経験豊富な熟練者。…といえるかもしれませんが、実は体にガタがでているポンコツです。

経歴は、同法人内施設の「はんな・さわらび療育園」で 29 年の経験があります。看護師資格を持っていますが、資格を取ったのも 35 年以上前になりますので、最新の医療とは程遠く、役に立てるかどうか不安が残ります。

ネガティブなことばかりですと皆様が不安になってしまうかと思いますので、明るい話題としては、頭のてっぺんが皆様より明るくできています。自分的には冬が寒いので困っていますが…。

残りあと何年頑張れるか分かりませんが、1 歩 1 歩ゆっくりですが歩んでいきます。センターの利用者様、職員はとても温かく見守ってくれているように感じています。

皆様にご迷惑をおかけしないようがんばっていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（高崎市心身障害者デイサービスセンター　センター長　荻野勝秀）

施設管理から

フィギュア展示コーナー

現在、ハーモニー高崎ケアセンター（以下センター）受付窓口の横には、色とりどりのフィギュアを展示しています。このフィギュアはすべて、高崎市心身障害者デイサービスセンターをご利用されている Y 様が作られた作品です。

制作に市販のキットは全く使わず、ボール紙や新聞紙などを利用して、すべて手作りされたフィギュアです。作品の中には、初代ウルトラマンや、バルタン星人などの思わずワクワクするような懐かしのキャラクターや、可愛らしさに見ているだけで癒されるアニメのキャラクターのトトロなど、素晴らしい作品ばかりです。

フィギュアに気付かれたセンター３階の高崎市心身障害者会館をご利用されている方々も、おもわず足を止め「すご～い」、「良く出来ているね～」と、感心されています。トトロを見た方は、皆さん「かわいい～」と、大絶賛です。写真を撮っていく方も、沢山いらっしゃいます。先日も、「うちの子、ウルトラマンが大好きだから見せてあげよ～」と言いながら、携帯電話のカメラの角度を変えて「インスタ映えするね～」と、何人かでとても楽しそうにしている利用者様がいらっしゃいました。そんな様子を見ているとこちらまで、おもわずにっこりと、嬉しくなります。

皆様、どうぞセンターにお越しの際は、フィギュア展示コーナーにお立ち寄りください。こんなステキな作品をご覧にならないのは、もったいないですよ !!

発行　ハーモニー高崎ケアセンター
発行責任者　総合施設長　花岡 卓二
〒 370-0035
高崎市柴崎町 1746-1
tel　027-346-8109

センター職員の声です!

新成人のお祝い

今年も高崎市心身障害者デイサービスセンター（以下、センター）より成人を迎えられた方のお祝いのご報告です。

お誕生日と成人の祝いのダブルのお祝いとなったＹ様は、ご利用開始当初はセンターの様子も分からず、うつむき加減で周りの様子を見られていました。しかし、今ではセンターにも慣れ、Ｙ様らしい生き生きとした表情を見せてくれるようになりました。

お父様の作られたテーブルを使って、ペットボトルキャップを箱に小さく開けた穴の中に落とす訓練を熱心にされたり、お気に入りのアーティストの曲をかけ、手を振って笑っていたりします。

また、何より他の利用者様との関わり方が大きな成長を感じられます。例えば、仲良くしてくれているお姉さん的存在の利用者のＩ様と２人で横になりながら、楽しそうにお話しされるようになりました。別の場面では、Ｉ様がＹ様のお気に入りのアーティストの曲を覚えて、Ｙ様の為に歌われている声がすると、ニコニコと笑ったりされるようになりました。

Ｙ様、写真にも映られている様に、本当にとっても素敵な笑顔を見せてくれます。また、花がパッとほころぶように笑うのです。そして、それを見た人みんなが、とても幸せな気持ちになります。

Ｙ様のお名前の１文字にもあるように、その優しい笑顔でみんなを包んでくれるような素敵な二十歳になられました。

（介護福祉士　須田真由美）

センターでの食事について

「うちら陽気な、かしまし娘♪」。少し懐かしいフレーズのように、三人娘が２Ｆの厨房内で高崎市心身障害者デイサービスセンター（以下､センター）の利用者様の食事を作っています。今回は、食事について書いてみました。

食事を作る際の調味料ですが、某社のカロリーハーフマヨネーズを使用し、醤油も減塩タイプを使用しています。だからと言って、かけすぎないで下さいね。また、だし汁は、昆布とかつお節でとっており、味噌汁等の汁物や煮物に使用しております。例年と比べ、今年は岩塩などの塩や砂糖にもこだわりたいと思っています。以前は赤穂のあら塩、三温糖を使用していましたが、今年は違った塩や砂糖を使っていきたいと思います。

献立作りでは、毎月行っているイベントの「おやつの旅」と連動した郷土料理を取り入れたり、季節に合わせた献立作りを心掛けています。職員室で献立作りに悩んでいるといろいろな利用者様からリクエストやアドバイスをいただきます。センターの利用者様は、グルメな方が多いので新しいメニューを沢山取り入れ、また料理の腕前も上げていけるように頑張ります。

（栄養士　柄沢洋子）

ただいま

平成 29 年 4 月に、高崎市榛名山町のはんな･さわらび療育園に隣接する、はんな･さわらび療育園通所支援センター（現:浜川こどもとおとなサポートセンター（高崎市大八木町）内、多機能型通所支援事業所「STELLA」）へ異動となり、産休育休を経て、また高崎市心身障害者デイサービスセンターに戻って来ました。

はじめましての利用者様もいますが、顔馴染みの利用者様がほとんどで「おかえりなさーい！」「待ってたよ！」と言葉をかけてもらいとても嬉しかったです。

また皆様と楽しく過ごして行けるよう、一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

（介護福祉士　友野瑞穂 (旧姓 : 吉田)）

退職のご挨拶

高崎市心身障害者デイサービスセンターでは、約７年間お仕事をさせていただきました。

社会福祉法人榛桐会へ入職した時、私は大学を卒業したばかりで、世の中のことを全く知らない若造でした。利用者様との接し方も分からず、失礼な態度を取ってしまったこともありました。しかし、そんな新卒の私を利用者様、職員の方々は温かく見守っていただき、また、成長を見守るように諭していただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

この経験を忘れず、これからの人生を歩んで行こうと思います。永い間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

（生活支援員　須田祐太）